



一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 2 月 17 日


前

午 1 時 15 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 29 年 2 月 17 日

湖西市議会議長 二橋益良様

湖西市議会議員 渡辺 貢 

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	熊本地震に学ぶ災害対策について
2	感震ブレーカー普及啓発への取組みについて
3	消防団員確保に関する現状と課題及びその対応策について
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	熊本地震に学ぶ災害対策について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

平成 28 年 12 月の内閣府の発表によると、昨年 4 月に発生した熊本地震は、関連死を含めた死者 161 人、重傷者 1,087 人、軽傷者 1,605 人、住宅の被害は全壊 8,369 棟、半壊 32,478 棟、一部破損 146,382 棟、公共建物の被害 325 棟などとなっています。被害のほとんどは熊本県で、県内における最大時の避難所の数は 855 か所、避難民は 18 万人余とのことでした。

大津波を伴う南海トラフ巨大地震と今回の地震は、揺れの性格や被害の内容などは異なるが、大きな地震災害という点では学ぶべきものが沢山あると思います。

報道によれば、「避難所が満員で、運営管理も適切でない。」「支援物資は届くが受け入れる側が混乱状態で処理しきれない。」「市職員も被災し人員不足で、他県からの自治体職員やボランティアの応援への指揮系統がうまくいかない。」

「被害認定（全壊、半壊等）と罹災証明書の発行の遅れに対する苦情が寄せられた。」等々の指摘がなされています。

本市の南海トラフ地震の被害想定については、災害の種類・程度などの状況に応じ、予想されており、大災害時には当然、避難民も多くを数えることとなります。

本市の万一の場合に備えて、今回の事例を活かせるよう準備、訓練をしておくことが大切であると思うことから、その取組み状況を確認したい。

(質問の目的)

南海トラフ巨大地震に備えて、熊本地震の教訓を活かした準備、訓練の取組み状況を確認したい。

(質問事項)

1. 湖西市の熊本地震被災地への支援状況及び派遣職員の学びとその共有化は。
2. 大災害発生の場合の避難所の運営マニュアルはあるのか。また避難所運営の訓練は実施されているのか。

3. 大災害発生の場合の被害認定や住宅等危険度に関する調査体制の整備、罹災証明書発行の迅速化や様々な被災者支援のための情報共有化等に関するシステム活用についての検討状況は。
4. 大災害発生時の受援体制は、どのように計画されているか。
5. 仮設住宅用地の準備状況は。
6. 災害時避難行動要支援者リストの整備状況と運用状況は。

番号	主 題
2	感震ブレーカー普及啓発への取組みについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>経済産業省は、地震による電気火災対策として、感震ブレーカーが効果的であるとして普及啓発活動を行っている。</p> <p>助成制度を設け普及に努めている自治体もあることから、本市の取組みについての考えを伺う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>感震ブレーカー普及促進に向けて、湖西市の考えを問う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感震ブレーカー設置のメリット、デメリットをどのように捉えているか。 2. 普及促進に向けて、湖西市の考え及び取組み方針は。 	

番号	主 題
3	消防団員確保に関する現状と課題及びその対応策について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>昨年9月の決算特別委員会の答弁で、条例定数に対する消防団員数の充足率は約97%と聞いた。その内、勤務先が市外の団員が20%いる点については、被雇用者が多数を占める現状では止むを得ないと思うが、補充が困難なため市外へ転出後も団員登録の継続をお願いしている事例も少なくないと聞いている。</p> <p>そもそもは、消防団員のなり手不足に起因するものと思うが、その実態と対応策を伺いたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>条例では、市外に居住するいわゆる在勤者も任用対象と規定しているが、大規模地震が想定されている中に在って、団活動への影響の有無等の実情を知ること、住民自身が地域防災を考える上での参考材料としたい。</p> <p>併せて、消防団員の確保に悩む各分団の具体的支援策を考える機会としたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 消防団員の充足状況と課題（年齢構成、平均勤続年数、市外居住者人員、分団の地域性からみた課題等）は。 2. 市外に居住する団員の団活動への支障について、どのように捉えているか。 3. 消防団員の確保に向けて、消防庁の示した検討課題に沿って消防団活性化計画を策定し努力している自治体もある。消防団に対する住民理解の促進、団員の負担軽減、処遇改善や家族の理解・協力を得るための方策、地元自治会等との連携支援策をどのように展開しているのか。 	

一 般 質 問 通 告 書

29年 2月 17日

前

午 1時 35分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成29年2月17日



湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 楠 浩幸 (印)

質問方式 (○を付ける)	
一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答	
番号	主 題
1	コンプライアンスと内部統制について
2	地方創生総合戦略の進捗状況について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	コンプライアンスと内部統制について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>収賄の疑いで湖西市職員が逮捕される湖西市として不名誉な事件が報道された。振り返って、平成 25 年 12 月定例会に於いて「コンプライアンス」について質問したが、ハード、ソフト共に徹底しているとの答弁を受けたにも関わらず、今回の不祥事が発覚した事に対し、市民から不信の声を聞く。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>再度、湖西市のコンプライアンスに対する考えと対応を確認し、市民からの信頼回復を図る。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 25 年 12 月一般質問答弁を踏まえ、なぜ今回の不祥事が発生したのか伺う。 2. 平成 26 年度、27 年度コンプライアンス教育実施状況について、実施回数と参加率、入札に関わる部署の参加率はどうであったか。未参加者に対するフォローはどの様に行ったか。 3. 再発防止策と内部統制について、今後どの様に行うのか伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	地方創生総合戦略の進捗状況について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成 28 年 3 月に策定された「湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、策定から 1 年が経過しようとしている。平成 28 年 1 月から 12 月の人口は 469 人減少しており、平成 27 年の-265 人と比較しても人口減少は加速している。総合戦略の目的と実績 (KPI) を再度確認し、人口減少に歯止めを掛ける必要がある。</p> <p>※国勢調査平成 27 年 10 月 : 59,817 人</p> <p>(質問の目的)</p> <p>推進体制に有るように平成 27 年度の事業が効率的に行われ、成果に結びついているか、進捗状況を確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 28 年度人口動向について、市はどの様に分析し、認識しているのか。 2. 総合戦略進捗上の課題は何か。課題に対し、体制を含めどの様に推進しようとしているのか。 3. 空き家バンクについて、開設して 11 カ月が過ぎたが、実績と成果はどうか。 4. 実績を踏まえ、市は「特定空き家」を含め「空き家」の現状をどの様に認識し、支援制度を含め、どの様な対策を講じようとしているのか。 5. 「空き家」の所有者に対し、どの様な課題を持ちどうしたいのか等意向調査が必要と考えるがどうかを伺う。 6. 全庁横断的な検討委員会の設置が必要と考えるがどうか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること



一般質問通告書

平成29年 2月17日

前

午後 4時50分 受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成29年 2月17日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 加藤 弘己



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
1	健康寿命をいかに延ばすか。

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	健康寿命をいかに延ばすか。
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>厚生労働省の発表によると、2013年のわが国の健康寿命は、男性が71.19歳(対2010年比+0.78歳)、女性が74.21歳(同+0.59歳)に伸びた。静岡県は男性が72.13歳(全国3位)、女性が75.61歳(全国2位)である。日本人女性と男性の平均寿命はそれぞれ87.05歳、80.79歳と過去最高を更新したが、健康な期間との差が依然としてある。</p> <p>この幅を縮め生涯を通じて健康で幸せに暮らせることのできるよう健康寿命の延伸が目指す姿となってきた。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>生活習慣病やがんの早期発見・早期治療による予防医療への取り組みにより健康寿命を延ばすため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 「健康こさい21」によると、特定健診結果において、湖西市は県内他市町に比べ男性の高血圧症有病者・予備群、女性ではメタボ該当者・予備群、肥満、高血圧症有病者・予備群、糖尿病有病者・予備群で検診所見の該当比が高い。これらの項目の効果的な保健指導体制の整備と充実にはどのように取り組んでいるか伺いたい。 がんの早期発見、早期治療につなげるため、働き盛りの40代から50代の若い世代の「がん検診」の受診強化の取り組みについて伺いたい。 	

3. 胃がん検診において当初からバリウム検査と内視鏡検査を選択できるようにすることは可能か。

4. 高齢者のインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの接種状況はどうか。



一 般 質 問 通 告 書

水戸

平成29年 2月27日

午前 11時5分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成29年 2月27日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 加藤 弘己



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
2	市長施政方針説明（都市計画道路松山茶屋松線の整備に関する グランドデザイン）について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
2	市長施政方針説明（都市計画道路松山茶屋松線の整備に関するグランドデザイン）について

質 問 の 要 旨

（質問しようとする背景や経緯）

（仮称）浜名湖西岸地区土地区画整理事業の実現には国道1号浜名バイパス及び東名高速道路へのアクセスが最重要である。

当ルートは湖西市が目指す、新産業都市の構築、快適で安全安心な地域づくり、市民生活の充実のために要となる幹線道路ネットワークでありグランドデザイン作成は喫緊の課題である。

（質問の目的）

都市計画道路松山茶屋松線の早期の整備実現のため。

（質問事項）

1. 浜名湖西岸地区土地区画整理事業と松山茶屋松線のグランドデザインの進捗について伺いたい。
2. 計画を進めるための人材確保について伺いたい。
3. 国、県のほか、鉄道・電信・電力・電話・ガス等の関連企業との調整はどのように計画しているか伺いたい。
4. 都市計画道路の整備については、このほか鷲津駅谷上線について触れられているが、道路インフラの整備は、限られた財源の中、「選択と集中」の考えのもと、どのような戦略で展開していくのか伺いたい。



一 般 質 問 通 告 書

平成29年2月17日

前
午9時40分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成29年2月17日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 高柳達弥



質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	自主防災組織の活動拠点施設整備について	
2	市民協働によるまちづくりについて	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
----	-----

1	自主防災組織の活動拠点施設整備について
---	---------------------

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

昨年は、4月の熊本地震、8月の大型台風、10月の鳥取地震、年末の糸魚川市での強風による大火災など、大規模災害が頻発しました。

本市では、南海トラフ巨大地震や集中豪雨などに備え、地域防災計画により防災体制や施設設備の整備を着実に実施してきました。12月議会において、影山市長は所信表明演説の中で、市民の命を守る対策を最重要課題と捉え、平成32年度までに静岡県第4次地震被害想定地域の津波避難施設空白域の解消率0%を目指すとし、命山や避難タワー等の整備を進め、地震・津波被害から市民を守ると表明しました。

災害対策には、自分の命は自分で守ることを基本としつつも、市民一人一人と地域、行政が一体となって取り組まなければなりません。地域の自主防災会は、災害発生時には住民の的確な行動を促し、被害を最小限にするため、日頃から地域内の安全点検や住民への防災知識の普及・啓発、防災訓練など地震災害に対する備えを行わなければなりません。また、実際の地震発生時には、初期消火活動、被災者の救出・救助、情報の収集や避難所の運営といった多くの活動が求められます。

こうした自主防災会の活動拠点は、主に各地区の公会堂等となっておりますが、日常活動、災害時の活動場所として、施設規模や資材配備の関係から充分ではないと考えるため、整備の必要性について伺う。

(質問の目的)

防災活動拠点施設の整備により防災力を向上させるため

(質問事項)

1. 自主防災会の防災拠点施設整備が必要と考えるが、市の認識は。
2. 防災拠点施設整備に対して、補助制度創設をしてはどうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	市民協働によるまちづくりについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成 23 年度から、新・湖西市総合計画が進められ、現在「基本計画見直し」版、「まちの姿1. ひとが育つまち」の重要施策「まちづくりはひとづくり」の成果指標では、まちづくりへの市民参画に満足していると答える市民の割合は、目標値 15%に対し、8.1%と大幅に低くなっている。</p> <p>このままでは、市の将来像である、市民協働で創る「市民が誇れる湖西市」のまちづくり計画が遂行できるか疑問である。住民参画・協働についての市民意識調査等結果をどのように基本計画見直しに生かされたのか。新市長のもと検証し、市民・地域・行政による協働のまちづくりへの新たな総合計画を作成すべきと考える。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市民協働でのまちづくりを進めるため</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在継続実施中の新・湖西市総合計画を、市長はどう評価しているか。新たな構想により総合計画を作るのか、見直すのか、そのまま継続していくのか。 2. 市民意識調査では、「これからのまちづくりには住民の参画や協働が必要である」との問いに、「思う」との回答が 67.5%と多かった。この調査結果を、どのように市政運営に生かしていくのか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること



一 般 質 問 通 告 書

平成29年2月27日

前
19時50分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成29年2月27日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 高柳達弥



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題
3	市長施政方針説明について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
3	市長施政方針説明について

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

市長は、就任に当たり「未来に輝く湖西市」を目指し5つの旗を掲げ「対話」と「行動」の姿勢で市政運営に取り組むと所信を述べました。そして、これを施政方針に於いて重点事項として「今、必要な行政サービスの充実」と「将来にわたって持続可能かつ魅力あるまちの実現」に向けた予算編成をされたと説明を受けました。

市長の掲げた重点施策が実効性のあるものとなり成果として表れるための執行体制や効果検証をどのように実施するか伺う。

(質問の目的)

市長の目指すまちづくりが実効性あるものとするため

(質問事項)

1. 市長が掲げ目指す「5つの旗」を実効性あるものとするため、どのような執行体制を整備するのか。また、どのように施策、予算の進行管理を行っていくのか。
2. 重点施策の執行による効果検証等は、総合計画に定められた成果指標と目標値だけでは不十分と感じる。施政方針で述べた重点施策について、より強力で推進するため、きめ細やかな事業の進捗管理や業務分析が必要と考えるが、どのようにPDCAサイクルを回していくのか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること



一 般 質 問 通 告 書

29年 2月 20日

前
午9時 45分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 29年 2月 20日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 菅沼 淳



質問方式 (○を付ける)		<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
①	運動公園野球場、新設トイレ整備について	
②	新居体育館南テニスコート整備について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
①	運動公園野球場、新設トイレ整備について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯)	
<p>運動公園野球場バックネット裏トイレ整備については、平成 28 年 3 月に予算計上され新設整備をしていただきました。早速、球場を利用する方々から、「不便は概ね解消されてありがたいが、同時に野球場のトイレとしては残念な整備である」、との評価をいただいております。何が残念かと言え、整備をされたトイレは緊急時に一時的に設置される所謂、プラスチック製の屋外用仮設トイレであります。スタンド、ダッグアウト、バックスクリーン、スコアボード、夜間照明等が整備された当野球場は、以前申し上げたように市内外から競技者、観戦者、観戦者の中には体の不自由な方々もおられます。そのような様々な方々が訪れる場所であり、一時的なイベント広場や工事現場では無いということ、たかがトイレと間に合せて設置しておけば良いというものではなく、相応な整備が必要ではないかということであります。</p>	
<p>設置していただいたばかりで、心苦しくもありますが、湖西市の名誉を損なう印象を与えるような整備であるとするれば、本末転倒、市民の声を代弁する者としても「残念である」、と言わざるを得ません。</p>	
<p>以上を背景として質問をさせていただくものであります。</p>	
(質問の目的)	
湖西市の名誉のために	
(質問事項)	
<p>1、 厳しい予算調整の上での整備であったと理解するが、当市の野球場トイレとして相応しい整備とお考えか、お伺いします。</p>	
<p>2、 緊急的、一時的、な機能トイレであることから、近々野球場に相応しい整備計画^かあると考えるが具体的な計画はどうか、お伺いします。</p>	

番号	主 題
②	新居体育館南テニスコート整備について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>当テニスコートは人工芝仕様のコートですが、現状は長年の使用により多数の不良部が発生し、材質また修理費用からと推測しますが、部分的な修繕により継ぎ接ぎが目立つ修理状況となっております。見事な補修により外観は、パッチワーク仕様の芸術的なコートであるような感じさえますがそのような問題ではありません。既存の芝と補修部のジョイント部には当然段差が生じボールが接触すればバウンドは変化し、段差につまづき転倒してしまう状況にあります。コート入り口の金網フェンスには「コートに段差やめくれがあります。注意してプレーしてください。」との張り紙がされております。怪我をしないように、の思いからの張り紙だと理解しますが、整備不良が原因で怪我をするなどプレー以前の問題であり、あってはならないことだと考えます。</p> <p>近年は、日本人プロテニスプレーヤーの活躍の影響もあり、湖西市のテニス人口も増加していると聞いております、またスポーツをすること、楽しむことは健康の維持増進を図り、現在私共9名の議員で「地域医療等対策特別委員会」を設置し勉強、研修をしておりますが、まさに国が示す今後の医療・介護の問題にも関連する重要な位置づけにあると考えます、以上のことから今後の整備についてお伺いするものであります。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>施設の整備を充実し、体力・健康維持増進を図ること</p> <p>(質問事項)</p> <p>1、 テニスコートの現状についてどのように考えておられるのか、お伺いします。</p>	

- 2、 これまでの修繕は、材質また修理コストを考えればやむを得ない措置であったと理解するが、今後の整備計画（全面改修）についてはどうか、お伺いします。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること